雪との共創、新時代、広げよう北広島から

図20243MDトピア・フェアin北広島





令和6年1月10日(水)・11日(木)

開催地

北海道北広島市



<開催報告書>



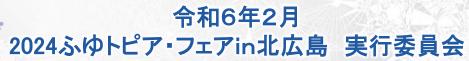


図20243MDトピア・フェアin北広島

はじめに

令和6年1月10日(水)~11日(木)の2日間にわたり、北海道北広島市(エスコンフィールドHOKKAIDO、北広島市芸術文化ホール、北広島イベント広場))において、「2024ふゆトピア・フェアin北広島」を開催しました。

2日間にわたる参加人数は、延べ約5,400名と多くの方々に参加いただき、盛況の うちに終えることができました。

「ふゆトピア・フェア」は、総合的な雪対策の推進等を目的として昭和60年より北海道・ 東北・北陸の3地域で持ち回りで開催している全国的なイベント(東北・北陸は「ゆきみ らい」)であり、今回で38回目の開催となります。北海道での開催は、令和2年の2020 ふゆトピア・フェアinとまこまい(苫小牧市)以来、4年ぶり13回目の開催となります。

当日は、「オープニングセレモニー」を皮切りに、「ふゆトピアシンポジウム」、「ふゆトピア研究発表会」、「ふゆトピア展示会」、「除雪機会展示・実演会」が開催されました。本報告書では、各イベントにおける開催状況について報告いたします。

開催テーマ

『雪との共創、新時代、広げよう北広島から』

雪国北海道において、雪との共存・克雪のために新たな技術や価値を生み出し、新時 代に向けて北広島から発信していくことをコンセプトとしております。

320243かトピア・フェアin北広島

主な会場







図20243、ゆーピア·フェアin北広島

ープニングセレモニ

【開催概要】

日時: 令和6年1月10日(水) 9:30~10:00

場所:エスコンフィールドHOKKAIDO

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で犠牲になった方々への 黙祷を捧げた後、「2024ふゆトピア・フェアin北広島」実行委員会を代表 して、委員長・柿崎恒美国土交通省北海道開発局長、副委員長・浦本 元人北海道副知事及び上野正三北広島市長が挨拶を行いました。

また、実行委員会委員長・副委員長及び各イベントの代表者の合計 7名によりテープカットを実施しました。

【テープカット参加者】

- ・桜井 あけみ(シンポジウム代表) 東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議代表
- ·冨田 真未(研究発表会代表) (一社)北海道開発技術センター 調査研究部 調査第二部 上席研究員
- ・柴尾 幸弘(展示会代表) 理研興業(株) 代表取締役副社長
- 岩見 吉輝(除雪機械展示・実演会代表) (一社)日本建設機械施工協会 業務執行理事
- 柿崎 恒美(実行委員会委員長) 国土交通省北海道開発局長
- ·浦本 元人(実行委員会副委員長) 北海道副知事
- ·上野 正三(実行委員会副委員長) 北広島市長



柿崎 恒美 国土交通省 北海道開発局長



浦本 元人 北海道副知事



上野 正三 北広島市長



図20243MDトピア・フェアin北広島

参加者数 約450名 (WEB参加含む)

ふゆトピアシンポジウム

【開催概要】

日時: 令和6年1月10日(水) 14:00~17:00

場所:北広島市芸術文化ホール(大ホール)

基調講演: 杉谷 拳士 (株)ZENSHIN CONNECT 代表取締役

パネルディスカッション:(次頁参照)

■ 基調講演(14:15~15:15)

基調講演では、元北海道日本ハムファイターズの選手で、引退後、北海道で株式会社ZENSHIN CONNECTを設立した杉谷拳士氏をお招きし、設立した会社の事業コンセプトでもある「前進」をキーワードに「前進の心得」を講演していただきました。

講演の中で杉谷氏は、「北海道に恩返しをしたい」という想いから北海道に会社を設立されたこと、現在、スポーツ・教育・地域活性化・国際交流の4つの事業を展開していることを説明されました。

また、野球に関する取組として、積雪寒冷地である北海道では冬季の実践的な練習機会の確保が難しいという現状があることから、VRを活用した打撃トレーニングシステムの実証を株式会社NTTDaTaと連携して取り組んでいることを紹介され、いずれこの取組を全道に拡げたいとも述べられました。



【来賓挨拶】石川 伸 国土交通省北海道局参事官



柿崎 恒美 国土交通省北海道開発局長



上野 正三 北広島市長



【基調講演「前進の心得」】 (株)ZENSHIN CONNECT 代表取締役 杉谷 拳士 氏



【基調講演の様子①】



【基調講演の様子②】

【コーディネーター】

鈴木 聡士 氏 (北海学園大学 工学部 教授)

【パネリスト】

杉谷 拳士 氏 ((株)ZENSHIN CONNECT 代表取締役)

加藤 眞奈美 氏 (気象予報士・防災士・北海道防災教育アドバイザー)

桜井 あけみ 氏 (東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議代表)

吉田 昌史 氏 ((一社)大雪カムイミンタラDMO 総務部長兼商品開発部長)

川村 裕樹 氏 (北広島市 経済部 部長)

■ パネルディスカッション(15:30~17:00)

パネルディスカッションでは、「共に創る近未来(20 50年)の北海道の冬を考える」をテーマに議論しました。

はじめに、各パネリストからは、冬・雪に関する問題 提起として、「屋外競技が冬期に受ける制限」、「冬期 の最低気温の上昇」、「雪を活かす地域活動の仕方」、 「冬期の観光停滞」、「Fビレッジの冬期を含めた活用 方法」などについて、各立場から発言いただきました。

次に、それらの課題等を踏まえた取組や今後の展開について、パネリストからは、「冬期でもアスリートの技術が向上できる屋内施設の必要性」、「身近で温暖化を抑える方法」、「地域の誇りとなるような活動をすること」、「地域資源(雪質等)を活用し、スノーアクティビティで滞在延長」、「行楽地(Fビレッジ)と並行して進めるまちづくり」などの意見が出されました。

途中、コーディネーターからの質問やパネリスト同士で質問をされるなど、終始柔らかい雰囲気で議論を深めながらディスカッションが進められました。

最後に、各取組を通じた未来の北海道・北広島市の姿について、コーディネーターより発言を促されると、「年間を通してスポーツを楽しめる環境を整えていくことが更なる北海道の活性化に繋がる」、「雪、寒さを楽しみながら共存していくことが大切」、「地域への愛着やリスペクトが生まれるようなインフラ整備が必要、Fビレッジにも期待」、「地域のシビックプライドを高め、地域住民から口コミ、SNS等で発信されていく状態が理想」、「道央圏の周辺状況を踏まえたFビレッジの価値向上」などについて発言されました。

議論のまとめとして、鈴木氏より、「人口減少や気候変動の課題がある中、共に協力し課題を解決しようとする雪国の取組は、重要な価値を持つ」と総括しました。



【コーディネーター】 鈴木 聡士 氏



【パネリスト】 加藤 眞奈美 氏



【パネリスト】 吉田 昌史 氏



【パネリスト】 杉谷 拳士 氏



【パネリスト】 桜井 あけみ 氏



【パネリスト】 川村 裕樹 氏



【パネルディスカッションの様子】

図20243、ゆーピア・フェアin北広島

参加者数 約700名 (WEB参加含む)

ふゆトピア研究発表会

【開催概要】

日時:令和6年1月11日(木) 9:30~16:15

場所:北広島市芸術文化ホール

(大ホール、活動室)

■論文セッションテーマ

- •「地域性を活かした観光・産業振興、地域づくり」
- 「冬期における災害対応・支援・復旧」
- 「新たな技術を用いた冬期インフラ管理」

研究発表会では、「小学校の雪学習(除雪)に関する実践研究と今後の展開」や「DXアプリを活用した持続的かつ効率的な大雪への対応」、「準天頂衛星システムを活用した除雪車運転支援システムと自動運転化の開発について」等の積雪寒冷地における多様な取組みや研究成果について、39編の論文の口頭発表が行われました。

また、同会場ホワイエには「ポスターセッション」の 区画を設け、「凍結抑制型音響道路(メロディザペック)の事例報告」など、全7編を掲示し、担当者から説明を行いました。口頭発表会場と相乗して研究発表会を盛り上げていました。

最後に、松本一城(北海道開発局建設部道路計画 課道路調査官)より、「積雪寒冷地の冬期道路交通を 確保し続け、ヒトとモノの交流・対流を活性化させるこ とは、この地域に人が住み続け、産業や経済活動を 維持するために欠かすことができないことであり、本 発表が今後の新しい取り組みや更なる技術研究開発 につながることを期待したい。」と、講評しました。



【開会挨拶】 村上 睦 道路建設課長



【講評】 松本 一城 道路調査官



【研究発表会の様子(大ホール)】



【研究発表会の様子(活動室)】



【ポスターセッションの様子】

図20243vb-ピア・フェアin北広島

ふゆトピア展示会

【開催概要】

日時:令和6年1月10日(水)10:00~16:00 1月11日(木)10:00~15:00

場所:エスコンフィールドHOKKAIDO

道内のみならず、東北や北陸などの全国各地から36の企業・団体が出展し、消融雪施設、視線誘導標、防護柵、建設機械用タイヤチェーン、除雪車運転支援技術等、積雪寒冷地における快適な冬の生活環境づくりや防災力向上に関する雪氷対策技術などが多数展示されました。

開催期間中は、多くの来場者が会場に訪れ、出展者による広報活動はもとより、出展者と来場者、出展者同士の情報交換も随所で行われていました。

また、エスコンフィールドHOKKAIDOの見学に来場された方も展示ブースへ足を運んでいただくなど、一般の参加者も交えて盛況な2日間となりました。



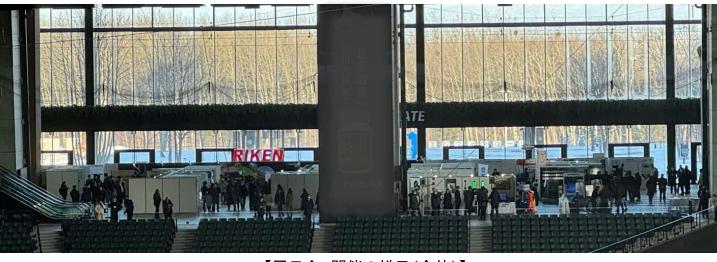
【総合案内所でのガイドブック配布の様子】



【出展者と来場者との情報交換の様子①】



【出展者と来場者との情報交換の様子②】



【展示会 開催の様子(全体)】

図20243vbトピア・フェアin北広島

除雪機械展示・実演会

【開催概要】

日時:令和6年1月10日(水)10:00~16:00 1月11日(木)10:00~15:00

場所:北広島イベント広場

開催にあたり、開会式を行い、岩見吉輝((一社) 日本建設機械施工協会業務執行理事)が主催者 挨拶を行った後、柳屋勝彦(同協会北海道支部長) 外6名によるテープカットで開幕しました。

道内外の民間企業を中心とした13団体が一堂に会し電力を動力とした環境に優しい新型除雪機械や、現場ニーズに沿った最新の除雪機械の展示を行いました。

北海道開発局では、除雪現場における生産性・安全性向上の取り組みであるi-Snow対応の除雪車(準天頂衛星みちびきを活用した運転支援、投雪作業の自動化)の展示を行いました。

また、そのうち6団体が、最新の除雪機械などに よるデモンストレーションを実施し、豪快な作業の 様子を通して除雪作業の重要性などについて情報 発信しました。

開催期間中は、近隣の幼稚園等の子供達が除雪車への体験乗車するなど多くの方の参加があり、 盛況な2日間となりました。



【開会式(テープカット)の様子】



【除雪機械展示状況】



【除雪車によるデモンストレーションの様子】



【除雪車の運転席へ体験乗車する子供達の様子】

図20243vbトピア・フェアin北広島

同時開催イベント 出展ブースの紹介

【開催概要】

日時:令和6年1月10日(水)10:00~16:00

1月11日(木)10:00~15:00

場所:エスコンフィールドHOKKAIDO

展示会と同会場で実施した同時開催イベントでは 本フェアに併せて、地域情報や各関係機関の取組 みを10団体等が紹介し、来場者への情報発信を行いました。

出展者		出展内容
1	(一財)石狩川振興財団	地域づくりや観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」の取組を 紹介。
2	シーニックバイウェイ北海道推進協議会	美しい「冬の景観」と絶景のドライブが楽しめる「秀逸な道」を 紹介。
3	国土交通省 北海道開発局 農業水産部 農業振興課	「わが村は美しく一北海道」運動の紹介や道内各地の地域資源を活用した住民活動の取組事例等を紹介。
4	国土交通省 北海道開発局 事業振興部 技術管理課	建設現場のニーズと新たな技術シーズをマッチングする取組等を紹介。
(5)	(国研)土木研究所 寒地土木研究所	当研究所の冬期に関する開発技術を紹介。 ・AIS3(凍結防止剤散布支援システム) ・吹雪時の視程推定技術と情報提供 等
6	北海道建設部	北海道における高規格道路ネットワークや道が実施する冬期における防災事業のほか、道路の維持管理、除雪など、北広島市で実施した事業を中心にパネルで紹介。
7	国土交通省 北陸地方整備局 北陸雪害対策技術センター	担い手不足対策として技術開発した除雪トラックシミュレータを通じて、 除雪オペレーターの運転技術等を体験するコーナーを出展。
8	新潟県上越市	次期「ゆきみらい」開催地である新潟県上越市の観光の魅力をパンフレット等の配布、ポスター・バナーの掲出、動画の放映を行いPR。
9	北広島市・北広島商工会・北海道きたひろ観光協会	「赤毛米」を使用した商品の展示をはじめ北広島市の特産品やJR北 広島西口の新たな顔づくり事業などの地域情報を紹介。
10	さっぽろ連携中枢都市圏構成市町村	さっぽろ連携中枢都市圏の取組と構成する市町村の個性や特徴をポ スター掲載や動画放映で紹介。

①川へ行こう!川を楽しもう!かわたびほっかいどう

(一財)石狩川振興財団

(国土交通省 北海道開発局 建設部 河川工事課)



②シーニックな冬&秀逸な道

シーニックバイウェイ北海道推進協議会



③「わが村は美しく一北海道」運動パネル展

国土交通省 北海道開発局 農業水産部 農業振興課



⑤寒地土木研究所 開発技術の紹介

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所



⑦除雪トラックシミュレータ

国土交通省 北陸地方整備局 北陸雪害対策技術センター



⑨北広島市の特産品と地域情報の紹介

北広島市・北広島商工会・北海道きたひろ観光協会



④現場の課題、新技術で解決

国土交通省 北海道開発局 事業振興部 技術管理課



⑥その先の、道へ。北海道

北海道建設部



⑧歴史と自然に出会うまち 新潟県上越市

新潟県上越市



⑩さっぽろ連携中枢都市圏とは?

さっぽろ連携中枢都市圏構成市町村 (札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、 北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町)



図2024 3 かトピア・フェア in 北広島

【2024ふゆトピアin北広島 実行委員会】

国土交诵省北海道開発局

北海道

北広島市

国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所

公益社団法人雪センター

- 一般社団法人日本建設機械施工協会
- 一般社団法人北海道開発技術センター
- 一般社団法人北海道建設業協会
- 一般社団法人札幌建設業協会
- 一般社団法人北海道きたひろ観光協会
- 一般財団法人北海道河川財団
- 一般財団法人石狩川振興財団
- 一般財団法人北海道道路管理技術センター
- 一般財団法人北海道建設技術センター

北広島市建設業協会

北広島道路維持協同組合

北広島商工会

東日本高速道路株式会社北海道支社

総務省、文部科学省、北海道経済産業局、北海道運輸局、気象庁札幌管区気象台、一般財団法人日本気象協会、

一般財団法人北海道開発協会、公益財団法人はまなす財団、一般社団法人寒地港湾空港技術研究センター、

ウインターライフ推進協議会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、公益財団法人アイヌ民族文化財団、

全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国積雪寒冷地帯振興協議会、全国雪寒都市対策協議会、北海道経済連合会、

一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、公益社団法人北海道観光振興機構、 公益社団法人土木学会、公益社団法人土木学会北海道支部、公益社団法人日本雪氷学会、日本雪工学会、

北海道旅客鉄道株式会社、北海道エアポート株式会社、株式会社日本政策投資銀行、朝日新聞北海道支社、

毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、日本経済新聞社札幌支社、共同通信社札幌支社、時事通信社札幌支社、 產経新聞札幌支局、北海道新聞社、株式会社北海道建設新聞社、北海道通信社、日刊建設工業新聞社北海道総局、

株式会社日刊建設通信新聞社北海道支局、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、

HTB北海道テレビ、UHB北海道文化放送、株式会社テレビ北海道、株式会社ジェイコム札幌、AIR-G'エフエム北海道、 株式会社FM NORTH WAVE、株式会社ファイターズスポーツ&エンターテイメント

【お問合せ】

2024ふゆトピア in 北広島 実行委員会事務局

(国土交通省北海道開発局開発監理部開発調整課内)

011-709-2311(内線:5479)

主

催

後